

希望と喜び

神学科2年 ペトロ ホアン・ドック・ロイ

†主の平安 暑さ厳しき折、一雨欲しい今日この頃ですが、皆様にはますますご健勝の事と存じます。いつも、お世話になり、さまざまな形でお力添えいただき、またお祈りくださり、誠にありがとうございます。

さて、私は昨年4月から日本カトリック神学院福岡キャンパスで、神学を学んでいます。今年度の福岡キャンパスには19名の神学生と6名の養成者がいます。神学科1年生5名、2年生は9名、3年生は5名です。私は皆様のお祈りに支えられて、神学科2年生(神学生4年生)として神学院で学んでいます。いつも、勉学と祈りを大切にしながら、色々と喜びを感じております。今年の授業は霊性神学・秘跡論・倫理神学・教会法・ヘブライ語などです。私はベトナム人として、日本語で哲学や神学などを勉強するのは難しいです。毎日、精一杯頑張っていますが、日本語の力がまだ足りなくて、知識も不足しています。それで、時にはストレスが溜まることもありますが、そんな時は畑に出て、心を込めて野菜を育てることが喜びとなっています。また、私はスポーツが大好きなので、自分の健康のために、そして神学生の兄弟たちとの交わりのために、よくサッカーをしています。これから、福岡キャンパスで神学だけではなく日本語、日本の文化、日本の習慣なども、もっと深く勉強し続けたいです。福岡キャンパスで生活に慣れながら、人間的・知的・霊的・宣教司牧的に、少しずつでも成長していければと思っております。

宣教司牧実習で、今年度は福岡教区の^{ききおか}笹丘教会(福岡市)でお世話になっています。時間帯は毎週土曜日の午後から日曜日の午後までです。笹丘教会では色々な活動に参加しながら、様々なことを勉強することができると実感しております。司牧実習では侍者・ミサ準備・ミサ奉仕・答唱詩編を歌い、教会学校での教話を担当しています。そして、教会の活動をよく観察して学んでいます。また、信者の皆様と交わり対話をし、分かち合うひとときももっています。笹丘教会での実習を通して、日本の教会のことを学びながら、信者さんだけでなく、未信者の皆さんとも関わっていけるようになりたいと思います。

私は日本に来て7年目になりましたが、振り返ってみると、この間に日本のこと・日本語・日本の文化・習慣などをよく勉強させていただきました。楽しいこともたくさんありますが、もちろん大変なときもあります。大変な時や辛い時、頑張っていれば、きっと神様のご褒美を与えて下さるということを確信しております。私は外国人だし、頭がよくないので、他の人に比べたら、2～3倍ぐらい努力しなければならないと思います。しかし、いつも、自分のペースを保って突き進んでいきたいと思っております。そして、どんな時にも感謝の気持ちを忘れず、神様を信じて歩んでいきたいと思っております。私は「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんな時にも、感謝しなさい。(テサロニケ I 5・16～18)」という御言葉を常に心に留めています。それは、喜びのある生活、祈り

のある生活、感謝のある生活を実践したいと考えているからです。

「いつも、喜んでいなさい」というのはある意味で無理なことです。なぜなら、私たちの毎日の生活の中には辛いこと、悲しいこと、嫌なこと、腹が立つこと、傷つくこと、だまされたり、失敗や過ちなど、人間の弱さからくることがたくさんあるからです。けれども、辛い気持ちになっても、私はいいと思っています。いつか、その苦しみを自分が断ち切って、その苦しみがきっと私のためになり、その苦しみが必要だから神様が私に与えて下さるのだと思えるからです。希望を持って生きることが大切なのではないかと思います。一時は苦しくても、その自分の思いを断ち切ってみると、神様は決して悪いようになさらないからです。

十字架上のイエス様の死が復活をもたらしたように、私たちも自分の生活で、小さな死を毎日経験することが必要だと思います。イエス様が死んで、弟子たちは寂しくがっかりしましたが、イエス様が三日目に復活して、婦人たちと弟子たちに何度も現れ、彼らに平和・喜び・希望をお与えてくださいました。そして、復活された主イエス・キリストは悪魔と罪に勝利しました。今、毎日、イエス様は私たちと共に生きています。

イエス様は「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」と命じられました。現在、私たちは、復活したイエス様と出会って確信した使徒たちによって伝えられた復活の信仰を持っています。しかし、一般的に、日本ではクリスマスのことはよく知られていますが、復活祭のことはあまり知られていません。その理由はイエス・キリストが真の意味で、神であることを信じることができないからではないでしょうか。

主イエス・キリストの復活は私たちの信仰の中心です。「キリストが復活しなかったのなら、わたしたちの宣教は無駄であるし、あなたがたの信仰も無駄です」という言葉がコリントの信徒への手紙Ⅰで書かれています。イエス様は「神の御旨は御子を信じる人々に皆、永遠の命を受けさせ、終りの日に彼らを復活させることだ」と言われました。私達はイエス様の生き方、愛の勝利と復活を信じるキリストの弟子です。

私たちが喜びを持ち、復活されたイエス・キリストと出会うことを望み、この喜びを多くの人々と分かち合うことが出来ますように、三位一体の神に願って参りましょう。

最後に、召命のためにお祈りくださっているすべての皆様を神様が祝福し、主の恵みが皆様の上に豊かにあるように祈っております。そして、日頃の皆様のご支援のおかげで、私たちは召命の道を歩むことが出来ると思います。今後とも、ぜひ私たちのためにお祈りください。



両キャンパスの神学生たちと



召命の集い／左から三宅神学生、ロイ神学生